

保護者の皆様へ

全国学力・学習状況調査結果及び課題と改善について

いわき市立玉川中学校長 角田 健司

令和5年度第3学年の全国学力・学習状況調査から

本校3年生の学力調査の結果は、次の通りでした。(令和5年4月18日実施)
平均正答率

	国 語	数 学	英 語
玉 川 中	県・全国をやや上回っている。	県を上回るが、全国よりわずかに下回っている。	県を上回るが、全国より下回っている。
福 島 県	69.0	46.0	41.0
全 国	69.8	51.0	45.6

※「生徒質問紙」の中での、本校生徒の**顕著な項目（抜粋）**は次の通りです。

【生活編】

<県・全国より好ましい傾向>

- 1 学校の授業時間以外に読書を1, 2時間以上行っている生徒の割合が、県・全国と比較して多い。
- 2 昼休みや学校が休みの日に、本を読んだり借りたりするために、学校図書館や地域の図書館を利用している割合が、県・全国を上回っている。

<県・全国より好ましくない傾向>

- 1 「自分には、よいところがある」と回答した割合が、県・全国と比較して低い。
- 2 困りごとや不安を先生や大人にいつでも相談できる生徒の割合が、県・全国をやや下回っている。

【学習編】

<県・全国より好ましい傾向>

- 1 平日でも家庭で2時間以上学習している生徒の割合が高く、家庭での学習習慣が身についてきている生徒が多い。休日については、3時間以上学習している割合が、県・全国を上回っている。
- 2 普段から新聞を読んでいる生徒の割合が、県・全国を上回っている。

<県・全国より好ましくない傾向>

- 1 計画を立てて勉強する生徒の割合が県・全国をやや下回っている。
- 2 課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組む生徒の割合が、県・全国と比較して低い。

※ 上記の結果を受けて、本校では今後、次のような改善策を講じていきます。

- 1 年間計画に位置づけた教育相談週間や定期的な「困りごと調査」の実施を通して、子ども達に寄りそった支援の充実に努めるとともに、保護者との連携を深め、子ども達がより安心して学ぶことができる環境づくりをする。
- 2 教育活動全体を通して活躍の場と成功体験を積み重ねて生徒一人ひとりの自己肯定感の育成を図るとともに、子ども達がいつでも相談ができるよう、学級担任はもちろん、養護教諭やスクールカウンセラー等を含めて組織的に相談体制を整備する。
- 3 出口に向けたキャリア教育を充実させ、各教科において学習の見通しをもたせながら計画的な学習を推進する。また今年度から導入した定期テスト後の学習の振り返り活動を効果的に活用して自己マネジメント力の育成を図る。
- 4 授業については、TT指導、習熟度別学習、タブレット活用、サポートルームの活用等、指導体制を整備して個に応じた指導の充実に努めるとともに、対話と協働を通じた学習指導法の工夫を取り入れ生徒が主体的に考え、課題解決する力を育成する。

保護者や地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。